

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09020200

政策目標	4	つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	15	環境の保全	事業優先度	B		
単位施策	1	自然環境の保護・再生	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	猟友会雄武部会運営補助金		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	9 産業振興課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	猟友会雄武部会の円滑な運営		関係課	#N/A		
事業目標	有害鳥獣の捕獲		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加	無		関係例規・法令名	無		
住民協働	無		関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	運営補助金の交付	運営補助金の交付	運営補助金の交付 射撃場管理施設整備費補助金	運営補助金の交付 射撃場射台覆道整備費補助金	運営補助金の交付	運営補助金の交付	
	事業費(千円)	2,400	170	1,020	870	170	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	2,400	170	1,020	870	170	170	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	1,050	170	880	0	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	1,050	170	880				
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) 運営補助金の交付	(実施内容等) 運営補助金の交付 射撃場管理施設整備費補助金の交付	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
	前記計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	有害鳥獣の捕獲	有害鳥獣の捕獲	有害鳥獣の捕獲	有害鳥獣の捕獲	有害鳥獣の捕獲
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	100%	86%	0%	0%	0%
		全体達成率	7%	44%	44%	44%	44%
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆				

事業名	猟友会雄武部会運営補助金	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	林務係長	渡部 憲一

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	猟友会雄武部会	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	有害鳥獣の捕獲	
【抱える課題やニーズは】	猟友会雄武部会の円滑な運営	指標(指標計算式/解説)	指標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	有害鳥獣捕獲事業の実施	① 有害鳥獣の捕獲	目標年度	平成26年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	有害鳥獣による被害を最小限に抑える		目標値	1式
			実績値	1式
			達成度	100.0%
		②	目標年度	平成26年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	① 猟友会雄武部会の運営支援	猟友会雄武部会の円滑な運営を図るため、猟友会雄武部会運営補助金を交付		
	② 射撃場管理施設整備に係る支援	猟友会雄武部会が設置している射撃場の管理施設が損壊したため、その整備に係る費用の一部を補助した		

■事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	有害鳥獣の捕獲にあたっては猟友会の協力が必要不可欠であることから、猟友会雄武部会の運営が円滑に進められるよう支援を行う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	有害鳥獣を捕獲することで農作物や森林の被害を最小限に防ぐとともに、安全講習会等を開催し違反行為及び事故の防止に寄与した。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	有害鳥獣捕獲に従事するためには免許等資格が必要であり、更新費用やハンター保険の加入など負担が生じることから、個人負担の軽減を図りながら有害鳥獣捕獲業務を円滑に進めることができるよう必要最小限の助成に努めている。また、射撃場の整備についても活用できる交付金を利用し、必要最小限の助成に努めた。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平	判断の理由	有害鳥獣の捕獲は誰にでもできるものではないので、資格者に対する助成は妥当である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
有害鳥獣による被害防止において、一定の成果が現れていることから、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
住民生活に被害を及ぼす有害鳥獣を捕獲することで、被害の拡大を防ぐことができる。また、有害鳥獣の捕獲は住民サービスの一環でもあることから、町民のニーズに応えるべく、当分は現状維持が適当である。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止